

第8回 呼吸法を整えて健康な体をつくる ②

2012年10月17日(水) 18:00～19:30 信州大学松本キャンパス旭総合研究棟 講義室A・B

1. 息がしづらくなると炭酸ガスが十分に排泄されず、血液は酸性に傾き命にかかわってくるって知っていますか？
2. 反対に、息が激しくはずむと血液はアルカリに傾き、頭がぼーっとしてきます実験してみましょう
3. 呼吸法が乱れると血液の酸、アルカリが簡単に変化し、全身の臓器にさまざまな影響を及ぼします
4. 呼吸法を整えるには修行(毎日実施する)が必要です
室内体操、散歩、水泳、自転車、ヨガ、太極拳など
5. 私どもの研究の大発見
(私は研究者であり、落語家ではありません)
6. 肺へ十分な体液(赤血球が入ってなくてもよい)が流れれば、肺から十分な炭酸ガスが排泄される
7. 流れによって細い動脈の一番内側の細胞から H^+ (水素イオン)が分泌され、体液中の重曹(HCO_3^- イオン)と反応して炭酸ガスが出てくる仕組みを発見
8. 今までの教科書
「肺での炭酸ガス発生は赤血球が絶対必要である」
(赤血球の中で炭酸ガスができてくる)
9. 「赤血球の数が減ってしまった重症の貧血の患者さんでも炭酸ガスは十分に排泄されている」が私どもの見方